

クビアカツヤカミキリ

の情報提供に御協力ください

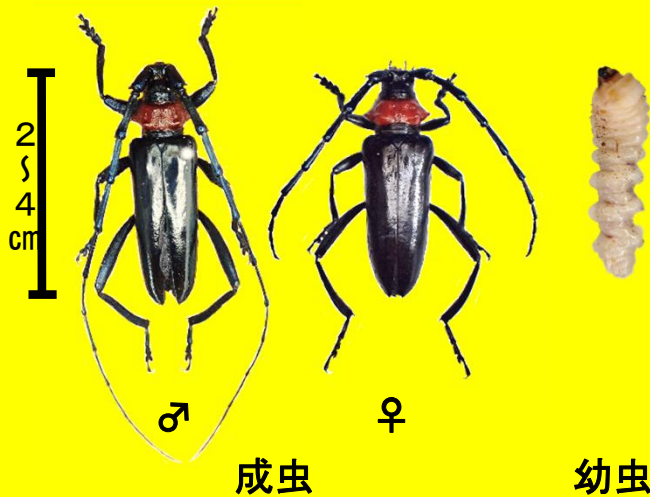
栃木県南西部を中心に、県内全域で特定外来生物クビアカツヤカミキリの被害が急拡大しています。幼虫がモモ、スモモ、ウメ、サクラに寄生し、内部を食い荒らすことで、樹木は最終的に枯れてしまいます。

さらなる被害の拡大を防ぐために、皆さんからの情報提供が必要です。

写真を参考に成虫やフラス（幼虫のフンと木くず）を見つけた場合には、下記のお問合せ先まで御連絡下さい。

成虫の特徴

- ・全体に光沢のある黒色で、胸部(クビの部分)が赤い
- ・成虫は6月から8月に現れる
- ・捕まえると刺激臭を発することがある
- ・体長は2～4cm



クビアカツヤカミキリ（ほぼ実物大）



防除に関する詳細は

「クビアカツヤカミキリ防除対策マニュアル」をご覧ください。

栃木県 クビアカ 防除対策マニュアル



幼虫が寄生している樹木からは、フラス（幼虫のフンと木くずが混ざったもの）が排出されます。

フラスは、細長く連なって出てきます。

<お問合せ先>

お住まいの市役所・町役場

栃木県環境森林部自然環境課
栃木県農業総合研究センター防除課
栃木県農政部経営技術課

電話：028-623-3207
電話：028-665-1244
電話：028-623-2286

被害の例



赤茶色のフラスが株元に積もったサクラ(左)とモモ(右)



被害で枯死した公園のサクラ(上)と果樹園のモモ(下)



サクラの根元に落下したフラス



サクラの幹から排出されるフラス

クビアカツヤカミキリのフラスの特徴



木くずと幼虫の糞が固まって
かりんとう状となる



フラスの内容物にはノミで削ったような
薄い木くず片が含まれている



内容物(拡大)

★クビアカツヤカミキリを見つけたら

- ・裏面のお問い合わせ先に御連絡いただき、発見場所、発見日等をお伝えください。
- ・成虫は見つけたら踏みつぶす等して捕殺してください。

★可能であれば御協力いただきたいこと

- ・写真を撮影してください。(フラスの拡大写真や株元の様子が見える写真)
- ・木の幹で見つけた場合には、樹種をお知らせください。

一御注意ー

イチジク、ツツジ類(ドウダンツツジなど)、カエデ(モミジ)類等については、クビアカツヤカミキリの寄生事例はありません。フラスが出ている場合は、在来カミキリムシによる被害と考えられます。



クビアカツヤカミキリは特定外来生物に指定され、**生きたままの運搬や飼育、販売等が禁止**されており、違反した場合には罰則があります。

県民の皆様へのお願い

- 1 外来種について、**よく知る。**
- 2 既に野外にいる外来種を
これ以上 **増やさない。**
- 3 飼っている外来種を絶対に
野外に **捨てない。**



栃木県